

2022年10月25日

各位

住 所 東京都渋谷区道玄坂一丁目2番3号
 会 社 名 GMOフィナンシャルホールディングス株式会社
 代 表 者 代表執行役社長 COO 石村 富隆
 (コード番号: 7177 東証スタンダード)
 問 合 せ 先 常務執行役 CFO 山本 樹
 T E L 03-6221-0183
 U R L <https://www.gmofh.com/>

2022年12月期第3四半期連結決算(速報)に関するお知らせ

2022年12月期第3四半期連結決算の速報値を下記のとおりお知らせいたします。なお、正式な決算数値は2022年11月1日に発表の予定です。

記

1. 2022年12月期第3四半期連結決算速報値(2022年1月1日~2022年9月30日)

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益
2022年12月期 第3四半期(速報値)	33,695	8,379	8,700	2,537
2021年12月期 第3四半期(実績値)	33,074	12,447	12,705	7,805
増減率(%)	1.9	△32.7	△31.5	△67.5
(参考)2021年12月期 年間(実績値)	45,924	15,396	16,037	9,858

2. 当該速報値の概要

2022年12月期第3四半期連結累計期間においては、ドル円相場の急速な円安進行を受けて、店頭FX取引高が大幅に増加する中でカバー取引コストも増加し厳しい収益環境となった一方で、2021年9月の外貨ex byGMO株式会社の連結子会社化やCFDの好調などによって、証券・FX事業は前年同期比で増収増益となりました。暗号資産事業は、売買代金・収益ともに低調に推移し、市場の活況を受けた前年同期が非常に好調であったことから大幅な減収減益となりました。これらの結果、営業収益は前年同期比1.9%の増加、営業利益、経常利益

はいずれも減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、本日付で別途開示している「特別損失の計上に関するお知らせ」に記載のとおり、2022年12月期第3四半期連結会計期間（2022年7月1日～9月30日）において特別損失を計上したことから同67.5%減となりました。

上記速報値は、現時点において当社が合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の決算数値は速報値と異なる可能性があります。

以 上